

木材価格市況標準相場

令和7年5月7日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	3
北洋材・北欧材	1
合板	2
(2) 値下げ品目	1
南洋材・中国材	1

○今月の市況動向

4月の商況は、わずかに回復傾向にあると思われる。建築基準法および建築物省エネ法の改正に伴う影響で、3月の住宅着工数が前年同月比39.1%増となった。しかしながら商売では実感に乏しい状態であり、4月以降の落ち込みも余り無い。これは職人不足により、工事の平準化が進んでいることが背景にあるとの報告もあった。

(国産材) 原木価格は高止まりの状態が続いており、製材所では人件費などのコストも上昇している。しかし、これらのコスト増を十分に価格に転嫁できていない。

(輸入材) アメリカの関税問題の影響は大きく、駆け込み需要により丸太価格が上昇したかと思えば、その反動でアメリカ国内の製品価格が下落するなど、先行きが見通しづらい状況が続いている。為替の影響も大きく、SPF材では先物価格が現物価格を下回る場面も見られ、今後は弱含みの展開が予想される。

(合板) 国内針葉樹合板の荷動きは低調だが、価格はメーカー主導により値上げは通っている。一部のメーカーでは、5月以降の値上げもアナウンスされている。輸入合板でも荷動きは悪いが、入荷量の減少から首都圏の在庫量は更に減少している。